



成城大学
 国際編集文献学研究センター
 Research Center for Textual Scholarship
 Seijo University

編文研シンポジウム

ヘルダーリン後期詩の編集／翻訳プロジェクト

第三世代テキスト編集の試み

2024年12月21日 (土)

13:00 ~ 17:30

会場：成城大学 3号館 322教室 (2階)

定員：100名 (事前申し込みが必要です)



シンポジウム内容

ヘルダーリンの後期詩を新たに編集／翻訳するプロジェクトが始動してから2年になる。その間、2023年7月には当センターにおいて「ヘルダーリン学術版編集の歴史—翻訳のための編集を考える」と題したシンポジウムを開催し、ドイツにおけるヘルダーリン学術版編集の歴史を検討した。また、プロジェクトのメンバーによる研究会を継続的に行い、これまで、5つの自由律詩の編集と翻訳について議論を重ねてきた。

今回は、研究会の中間報告として、それぞれが新たに立ち上げたヘルダーリンの詩テキストと注釈、そして翻訳を紹介し、その意義や今後の課題について議論を行う。手稿と向き合い、かつこれまでの諸版も参照しつつ、日本語翻訳のためにテキストを編集する試みは、単にドイツ語圏の学術版に追従するのとは異なる、日本の研究者による日本の読者のためのヘルダーリン・ルネサンスを企図する。

プログラム

第1部：導入

- ヘルダーリン後期自由律詩の編集・翻訳・注釈プロジェクトについて
- テキスト編集の問題点を中心に（矢羽々崇）
- モデルとしてのレイタニ版？（冨塚祐）

第2部：実践例—5つの詩のテキスト編集・翻訳・注釈

- 「追想」Andenken（矢羽々崇）
- 「唯一者」Der Einzige（益敏郎）
- 「あたかも祝いの日に...」 / 「あたかも農夫が...」
Wie wenn am Feiertage... / Wie wenn der Landmann...（林英哉）
- 「ムネモシュネ」Mnemosyne（大田浩司）
- 「ゲルマーニエン」Germanien（小野寺賢一）

第3部：ディスカッション

登壇者



矢羽々 崇

（やはばたかし）
獨協大学外国語学部教授
本研究センター特別客員研究員



冨塚 祐

（とみづか ゆう）
成城大学大学院
文学研究科博士課程後期
本研究センターRA



益 敏郎

（えきとしろう）
熊本大学大学院
人文社会科学研究部准教授



林 英哉

（はやし ひでや）
関西大学文学部准教授



大田 浩司

（おおた こうじ）
上智大学文学部教授



小野寺 賢一

（おのでら けんいち）
大東文化大学
外国語学部准教授

平野 遥海（ひらの はるみ）

東京大学大学院人文社会系研究科博士後期課程
※オンライン参加

明星 聖子（みょうじょう きよこ）

成城大学文芸学部教授
本研究センターセンター長
※オンライン参加

参加方法(事前申込制です)

■参加申し込み：

12月16日(月)までに下記URLまたはQRコードから
Googleフォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/dxJyzhUjfvFkg4Ju6>

■参加費：無料

■会場案内

小田急線「成城学園前」駅中央改札より徒歩4分。
3号館へは立て看板に沿って正門よりお進みください。

■問い合わせ：

成城大学国際編集文献学研究センター事務局
E-Mail：ts-office@seiyo.ac.jp

■主催：成城大学国際編集文献学研究センター



◆ヘルダーリン肖像画および手稿写真はWikipedia Commonsより使用

◆令和6年度 科学研究費補助金 基盤研究 (A)

「第三世代としての編集—古典の再生と文学研究の活性化をめざす編集文献学的研究」（研究代表者：明星聖子）による事業